

めざす学校像

子ども一人ひとりの「居場所」があり、保護者・地域と「未来を考える」学校



学校教育目標

基本理念

キャッチフレーズ

すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

学校とは「みんなが楽しく学ぶところ」である～熱意・誠意・創意をもって～

㊟明るく ㊟やさしく ㊟精一杯・よい子～㊟よく聞きよく考える子 ㊟じめをしない子 ㊟とばをはっきり言う子～

国・埼玉県・川口市より

- ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・小学校学習指導要領
- ・第4期埼玉県教育振興基本計画 ・県教育委員会「指導の重点」
- ・川口市教育の基本理念「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさそなえた人材を育てる 川口の教育」の具現化



地域・保護者・教職員の願い

- ・自己肯定感の育成 ・基本的な生活習慣の定着 ・確かな学力の育成と体力の向上
- ・たくましい心と体、「あいさつ、返事、お礼」の習慣化 ・やり抜く力（GRIT）の育成
- ・非認知能力の育成「自制心」「やり抜く力」「協調性」 ・厳しい時代を生き抜く力

学校像実現のための重点課題（キーワード：①時を守り、場を清め、礼を正す ②凡事徹底 ③速さは誠意、即対応）

すすんで学ぶ子（知）

- （1）一人一人を確実に伸ばす教育の推進（学力検査結果全国・県平均以上）
- （2）授業改善6つの視点達成率8割を超える教師8割以上
 - ①始まりと終わりの時刻を守る授業（45分間）の徹底
 - ②導入は内容をしぼって短く。（系統性を意識して）
 - ③学習課題やめあてを必ず提示する。（既習事項を生かして）
 - ④個の学びの時間を確保（授業のユニバーサルデザイン化）
 - ⑤集団の学びの中で、意見を交換し、自らの考えを深める時間の確保（ICTの活用）
 - ⑥授業のまとめや振り返りの時間の確保
- （3）家庭学習の習慣化
 - ・学年×10分+10分＝標準家庭学習時間
 - ・タブレットを活用したドリル学習
- （4）川口市教育委員会研究委嘱（R7～8）「学力向上・国語科」

思いやりのある子（徳）

- （1）あいさつ、返事、お礼の徹底
 - ・あいさつ：「自分から、目を見て、心をこめて」
 - ・返事：「はっきり、すっきり」「はい」と返事
 - ・お礼：「ありがとうございます。」頭を下げて、声に出して
 - （2）道徳科、学級活動の確実な実践
 - ・35時間（1年生：34時間）の確実な実践
 - ・学級会での話し合いの確実な実践（18時間以上）
 - （3）規律と落ち着きのある環境
 - ・15分間の清掃活動の充実（きれいな学校）
 - ・不登校ゼロをめざす
 - ・いじめの未然防止と確実な対応（心のつばやきアンケートの定期的な実施と迅速な対応）
- ※家庭とのこまめな連携

たくましい子（体）

- （1）学習指導要領に沿った体育的行事の実施
 - ・運動会の表現運動の内容充実
 - ・時間走（ペース走）記録会の実施
- （2）達成を目指す具体目標
 - ・体力テストA+B+C=75%超（R7=67.6%）
 - ・運動が好きな児童80%超
- （3）目標をもち、全力で取り組む体育実践
 - ・児童が夢中になって力を発揮できる場の設定
 - ・授業内での運動量の確保
 - ・できた、わかった、伸びた体験により達成感を味わわせる。
- （4）朝運動の充実（週1回）
- （5）外遊びの奨励 ・仲よく、元気に、全力で

学校を支える7つの基盤

生徒指導・教育相談体制の強化

- 生徒指導推進委員会・教育心理相談委員会を軸にした情報の共有化と組織的な対応
- 不登校ゼロをめざす
- いじめの未然防止・早期発見・早期解決

心の教育の充実

- 読書活動の推進【年間達成目標読書冊数・学校全体で3,500冊以上・児童一人あたり平均8冊以上】
- 人権感覚育成プログラム
- 学校教育編第2集の計画的な活用

「開かれた学校」づくり

- 教育活動内容の適正化（最重要）
- 社会に開かれた教育課程
- 児童の姿、学校の姿が見える情報発信
- ホームページ・アプリ配信の効果的活用
- 保護者・地域・学校応援団活動との連携の充実

安心・安全な学校

- 危機管理マニュアルの不断の見直しと徹底
- 安全・安心な登下校
- 交通安全、防災教育、防犯教育の実践
- 保護者・地域との連携による安全確保

児童が変容する課題研修

- 児童が変容する国語科を核とした授業の推進
- 思考力・判断力・表現力の育成
- ICT機器の効果的な活用
- デジタルシティズンシップ教育の推進

特別支援教育の充実

- プランA、プランBの計画的作成と指導の充実
- 特別支援学校及び特別支援学級のセンター的機能の活用
- 教職員研修の充実

教職員の働き方改革（最重要）

- 教職員が元気に働ける学校づくり
- 時間外等在校時間：月45時間未満100%
- 学校行事等の見直しと精選
- 日課表変更による放課後の時間の確保
- 学校・家庭・地域の協力体制の再構築
- 学校・家庭・地域の教育役割分担の明確化

家庭や地域とともに未来を考える学校

- 学校運営協議会の提言
- 学校関係者による評価
- 学校応援団と地域の教育力（放課後子ども教室を含む）の協力を得る
- 授業や学校行事の積極的な公開と連携
- 地域の力を借りた登下校時の安全確保
- 学校ファームでの農業体験
- PTAとの支え合い